

専門学校 国際理工カレッジ

学校関係者評価報告書
(令和6年度)

(1) 専門学校 国際理工カレッジ 学校関係者評価の実施について

本校では「学校評価実施規定」に学校評価項目については下記のように定めている。

本校ではこの「学校評価実施規定」に則り、令和7年6月28日（土）に学校関係者評価委員会を開催した。

1. 教育理念・目標

- 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
- 学校における職業教育の特色は何か
- 社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか
- 学校の理念・目的・育成人材像は・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか
- 各学科の教育目標、育成人材象は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか

2. 学校運営

- 目的等に沿った運営方針が策定されているか
- 運営方針に沿った事業計画が策定されているか
- 運営組織や意志決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
- 人事、給与に関する規定等は整備されているか
- 教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか
- 業界や地域社会に等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
- 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

3. 教育活動

- 教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか
- 教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
- 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
- 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか
- 関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか
- 授業評価の実施・評価体制はあるか
- 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
- 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
- 人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか
- 関連分野における業界等との連携に置いて優れた教員を確保するなどマネジメントが行

われているか

- 関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか
- 職員の能力開発のための研修などが行われているか

4. 学修成果

- 就職率の向上が図られているか
- 資格取得率の向上が図られているか
- 退学率の低減が図られているか
- 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
- 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

5. 学生支援

- 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- 学生相談に関する体制は整備されているか
- 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- 課外活動に対する支援体制は整備されているか
- 学生の生活環境への支援は行われているか
- 保護者と適切に連携しているか
- 卒業生への支援体制はあるか
- 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
- 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

6. 教育環境

- 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
- 防災に対する体制は整備されているか

7. 学生の受入れ募集

- 学生募集活動は適正に行われているか
- 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- 学納金は妥当なものとなっているか

8. 財務

- 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 財務について会計監査が適正に行われているか
- 財務情報公開の体制整備はできているか

9. 法令等の遵守

- 法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか
- 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- 自己評価結果を公開しているか

10. 社会貢献・地域貢献

- 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか

(2) 学校関係者評価について

学校関係者評価委員会において自己評価結果をもとに委員会で話し合われた確認指摘事項は以下の通りである。以下の学校関係者評価は本校自己評価の各項目と対応している。

1. 教育理念・目標

特に学校関係者委員より確認指摘事項はなかった。

2. 学校運営

特に学校関係者委員より確認指摘事項はなかった。

3. 教育活動

KRC ドームを使用してスポーツ実習やクラブ活動や放課後活用等学校生活への一層の充実について学校関係者よりおおいに評価いただけた。

また、教員の教育力向上のための研修の受講再開については、職業に関連した実務に関する知識、技術等についての研修、並びに授業に対する指導力等の修得向上のための研修の受講等を引き続き行っていくよう要望があった。

4. 学修成果

前述したが KRC ドーム建設による行事やクラブ活動への活用については、人間形成に必要なコミュニケーション力や協調性等を育成する貴重な機会でもあるので、今後とも様々な形で活用して行ってほしい、との意見をいただいた。

5. 学生支援

令和6年度も引き続き「高等教育の修学支援新制度」の認定を受けることができ、経済的な理由で修学が困難な学生の支援になるということで評価をいただいた。

6. 教育環境

前述の KRC ドームの完成により、「スポーツ実習」やクラブ活動を行っていくということで、コロナ禍を過ごしてきた学生に対して、授業や部活動・各行事等の学校教育活動を継続し、学生の学びを保障できるよう充実をはかれたことは大いに評価いただけた。

7. 学生の受入れ募集

今年は定員充足がかなわなかったため、学校関係者委員より学生の受入れの手法について今一度改善や見直しを行うよう意見をいただいた。

8. 財務

特に学校関係者委員より確認指摘事項はなかった。

9. 法令等の遵守

特に学校関係者委員より確認指摘事項はなかった。

10. 社会貢献・地域貢献

令和6年5月に地域の穴川商栄会との連携で、お祭りの雨天時のKRCドーム貸出や、軽音楽部の機材貸し出しとイベントへの参加などを行ったことについて、地域学校関係者委員から今後も一層積極的な交流をお願いしたいとの言葉があった。